

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
1		本部町観光拠点形成事業						
1	①	花いっぱい運動の推進事業	H24 ～ H33	観光地としての魅力を高めるため、国道及び県道沿い等に花の植え付けを行う。実施は、本部町観光協会へ委託する。植え付け作業は、町内の各種団体から成る「本部町まちぐるみ花いっぱい推進協議会」で行う。	プランター植付の実施=1221基	プランター植付の完了=1221基	(今後の展開方針) 町内プランターに花の植え付けを行い、地域ぐるみの花いっぱい運動を推進する。	
1	②	ハブ咬傷防止事業	H25 ～ H33	タイワンハブ捕獲トラップの購入及び設置・回収を行うことにより、個体数の減少及び拡大する生息域の抑制を図り、地域住民や観光客の咬傷事件を予防し、安全・安心な観光地づくりを目指す。	ハブ捕獲器を町内約200カ所に設置	ハブ捕獲数年間:200匹	(今後の展開方針) タイワンハブの分布状況の把握に努め、密集地帯の駆除を重点的にを行い、個体数及び生息域の抑制を図る。	
1	③	伝統興行観光化事業	H25 ～ H28	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」を後世へ継承していくために、ナイター闘牛や闘山羊大会を定期開催することで伝統興行の活性化を図る。また、闘牛舎及び付帯設備を整備することで闘牛文化継承者の負担を軽減し、伝統興行の継承に寄与する。	・伝統興行の実施:3回 ・公衆トイレの整備	・伝統興行の実施による観客数:1,377人(過去2年間の実績の平均値) ・公衆トイレの整備完了:1棟	(今後の展開方針) 組合による伝統興行の継続的实施	
1	④	本部町2大まつり事業	H25 ～ H28	本部町の2大まつりである海洋まつりと桜まつりを充実させ、本部町の魅力を観光客に周知し観光産業の活性化を図る。	2大まつりの実施 ・海洋祭り 7月 ・桜祭り 1月	2大まつり来訪者数 ・海洋祭り 10,000人(2日間合計) ・桜まつり 10,000人(期間中1日平均) (参考)過去実績 ・海洋まつり H22年度6,441人、H23年度6,037人、H24年度8,629人、H25年度11,506人、H26年度3,043人、H27年度10,790人 ・桜まつり H22年度8,202人、H23年度9,425人、H24年度9,668人、H25年度10,809人、H26年度10,541人	(今後の展開方針) エージェント等との連携を図り、県外からも多くの方が訪れるようなイベントを目指す。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものを記載している。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものを記載している。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑤	本部町フクギ集落整備事業	H25 ～ H29	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所である。今後の観光振興につなげるためにも、地域の集落景観の維持・保全等計画を推進するとともにフクギの剪定や案内板等を整備し、地域自然を有効活用した集落づくりに取り組む。	・フクギ集落の散策路・案内板等の工事実施 ・具志堅集落内フクギの剪定工事実施	・フクギ集落の散策路・案内板等の工事の完了 ・具志堅集落内フクギの剪定完了	(今後の展開方針) ・備瀬フクギ集落の排水・舗装等の整備完了 ・町や観光協会とフクギ集落地区のネットワーク強化 ・県内外旅行会社と連携したフクギ集落景観を活かした観光コースの検討	
1	⑥	八重岳観光拠点整備事業	H25 ～ H29	日本一早い桜祭りとして有名な八重岳には毎年多くの観光客が訪れるが、今後も本部町の主要観光拠点としてアピールしていくためには、観光客に配慮した拠点整備が必要である。本事業において排水路整備を行うことは、法面崩壊と桜(緋寒桜)の倒木防止になり観光資源の保全と観光客の安全確保が図られる。	排水護岸工事の実施 L= 430m 広場整備の実施 A=6,000m ² ・東屋1基	排水護岸工事の完了 L= 430m 広場整備の完了 A=6,000m ² ・東屋1基	(今後の展開方針) H26年度～H29年度:法面前壊防止のための排水路整備及び新たな拠点(広場)づくり H28年度:八重岳入口河川の親水護岸及び新たな拠点(広場)づくり H29年度:親水性護岸整備及び東屋等設置	
1	⑦	観光漁業実証調査事業	H26 ～ H29	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。	観光プログラムの実証 ・体験型観光の実施及びデータ収集	町内水産資源を活かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	(今後の展開方針) 観光協会及び漁業協同組合と連携し事業展開する。	
1	⑧	観光地安全対策事業	H27 ～ H28	本町には、県内最大の観光施設である沖縄美ら海水族館があり、県内外から年間430万人もの観光客が訪れており、安心安全な観光地づくりが課題となっている。そこで、本町の主要道路に防犯カメラを設置し、安心安全な観光地づくりを図る。	防犯カメラの設置工事:3台	防犯カメラ3台の設置完了	(今後の展開方針) 本部警察署等とも連携し、防犯カメラの利活用を図る。	
1	⑨	渡久地港駐車場整備事業	H28 ～ H30	本部町の水納島へ渡る航路が発着する渡久地港の旅客ターミナル及びその周辺には駐車スペースが少なく、水納島を訪れる観光客に不便を強いていることから、観光客等の利便性向上させるため駐車場を整備する。	駐車場の整備 383m ²	渡久地港周辺における駐車可能台数の増加=12台	(今後の展開方針) 渡久地港周辺の慢性的な駐車場不足を解消するため、引き続き駐車場の整備を実施していく。 H29:用地取得(813m ²)、実施設計委託業務一式 H30:駐車場整備(813m ²)	8月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	事業内容			H28活動目標(指標)	今後の展開方針等		補足説明等	
1	⑩	観光案内情報板整備事業	H28 ～ H29	本部町では、地域の特色を生かした様々なイベントが開催されており、イベント等の周知は、ホームページ、広報誌、新聞折り込み等を活用しているが、観光客に十分周知できていない状況である。また、台風襲来時の注意喚起や交通機関の運行状況、イベント中止の情報なども伝達しなければならない。そこで、観光客にイベント等を周知するため観光案内情報板を整	観光案内情報板の設置:2台	観光案内情報板2台の設置完了	(今後の展開方針) 外国人の観光客にも理解できるよう観光情報について多言語で表記する。	8月変更 (事業追加)
2		本部町亜熱帯農業生産体制強化事業						
2	①	園芸農業防災施設整備事業	H24 ～ H28	沖縄県では台風の襲来や病害虫の発生により農作物の被害が大きくなるため、農家経営に対する不安や生産意欲の減退などの課題がある。そこで、農業生産物の産地化を図るため、台風対策用のハウス等の施設の導入を行う。	ビニールハウスの整備件数:5件	ビニールハウスの活用により生産性の向上の体制整備	(今後の展開方針) ・自然災害による農作物被害の低減 ・施設整備による産地形成	
2	②	もとぶブランド牛基盤づくり支援事業	H25 ～ H29	肉用牛生産農家及び農業生産法人のもとぶ牛ブランド化の基盤創出のため、優良母牛の導入に対する補助を行う。	優良母牛導入の支援	優良母牛導入頭数:45頭	(今後の展開方針) 平成26～29年度にかけて各年度目標導入頭数:45頭	
2	③	メイドイン・もとぶ産品成長産業化推進事業	H28 ～ H33	特産品生産者及び事業者の経営の安定化と産業の発展を図るため、販売支援員の配置、物産展等への出展など、本部町の地域の特性を活かした特産品の販路拡大を支援する。	・賃金 1名 ・商工会への支援の実施 (メイドインもとぶ産品のリスト化) (メイドインもとぶ産品のPR及び販売の支援) (県内物産展への出展支援(5回))	新規取引契約数10件/年 物産展等での販売目標 1回50万円×5回	メイドインもとぶ産品を県内外の流通経路にのせ、1次・2次産業の底上げを図る。	5月変更 (事業追加)
3	①	モトブンチュ人材育成事業	H25 ～ H29	沖縄の伝統文化である琉球舞踊、琉球民謡、方言、遊び、エイサー等を通して触れ合う場、学ぶ場を提供し、沖縄独自の伝統文化の継承を図る。	・伝統文化継承教室開催240回 (三線、琉舞、沖縄民謡読み聞かせ、昔遊び、空手、やちむん絵付け、物作り) ・町内イベントでの体験型プレイショップ開催3回	教室目標参加者数 2,600人 体験型プレイショップ目標参加者数 800人	(今後の展開方針) H25～H30延利用者数 15,000人	
4		本部町教育環境整備事業						

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
4	①	本部町学力向上学習支援事業	H26 ～ H33	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力向上を図るため、学習支援員の配置を行う。町内小・中学校に学習支援員を配置し、国語及び算数・数学、及び必要に応じその他の主要教科において「授業支援」を行う。また計画的な「放課後支援」を行い学習の遅れている児童生徒へ習熟学習の支援を行い学力向上を図る。	・町立小学校 5校へ配置 ・町立中学校 2校へ配置	・全国学力調査での全国平均との差 ①小学校 総合点 全国平均以上を維持 ※H27年の差 +3.2ポイント 全国平均 63.9ポイント 本町 67.1ポイント ②中学校 総合点 前年比 2ポイント以上の向上 ※H27年の前年度との差 +2ポイント H26年 50.9ポイント H27年 52.9ポイント	(今後の展開方針) H33年度全国学力・学習状況調査 全国平均以上。	
4	②	本部っ子短期留学チャレンジ事業	H27 ～ H33	夏休みを利用し、町内の中高生を英語圏へ短期間派遣し、ホームステイを実施する。生きた英語に触れることにより、今後の英語学習への意欲を高め、また異文化体験することにより、広い視野で物事を捉える人材育成を目指す。	町内の中高生を英語圏へ短期間派遣(2週間)	事業実施後の英検合格率25%。	(今後の展開方針) 平成27年度から平成33年度まで 毎年中高生を英語圏へ短期間派遣	
4	③	学校ICT機器整備事業	H28 ～ H30	将来の沖縄振興を担う子どもたちの学力及び情報活用能力の向上を図るため、町内小中学校のICT環境整備(全教室の無線LAN整備、タブレットPC等の導入)及びICT活用支援員を配置し、ICT機器の活用によるICT教育の推進を通じ、児童生徒の学力及び情報活用能力の定着、向上を図る。	無線LANの環境整備 3校 タブレット等の購入設置 65台 大型モニタ等の購入設置 11台 ICT活用支援員 1名配置	本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上。	H30年度までに、全小中学校にて無線LANの環境整備及びタブレット等の購入設置を行う。整備後においては本部町学力調査において対前年比で2ポイント向上を目標とする。	
4	④	特別支援教育環境充実事業	H28 ～ H33	教育の振興を図るため、特別な支援を要する幼児児童生徒(心身の障害及び発達障害)に対し、特別支援教育支援員の配置及びスクールソーシャルワーカーを配置することで、個々に応じた適切に必要な支援を行う。特別支援教育支援員、スクールソーシャルワーカー、担任教師・教諭との連携による特別支援教育環境の向上、充実に推進する。	特別支援教育支援員 20名配置 スクールソーシャルワーカー 1名配置	特別な支援を要する幼児児童生徒へ支援の充足率70%。	対前年比で充足率5%向上を目標とする。	

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたものの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたものの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。

平成28年度 沖縄振興特別推進交付金（市町村）成果目標一覧【公表版】

本部町		事業名	計画期間	事業概要		H28成果目標(指標)	備考	
事業番号	パ細			H28事業内容	H28活動目標(指標)		今後の展開方針等	補足説明等
				5	①			
6	①	世界のムトゥブンチュ大会実施事業	H28 ～ H33	<p>本部町出身海外移住者とのネットワークの発展のため、世界ウチナーンチュ大会の実施と同時期に移住者やその子弟などと本部町民との親善交流会(世界のムトゥブンチュ大会)を実施する。</p>	<p>世界のムトゥブンチュ大会 10月28日実施 ・沖縄文化鑑賞出演者(文化協会 3部会、町内各種団体 3団体) ・海外町人会活動紹介 3団体</p>	世界のムトゥブンチュ海外大会参加者 100名	大会実施後にも各地の本部町人会との連携を密に取り、町人会をはじめとする町独自の国際ネットワークの構築と強化が見込まれる	5月変更(事業追加)

H28活動目標(指標):平成28年度における当該事業の主な取組又は事業量をあらわしたもの。

H28成果目標(指標):平成28年度における当該事業の実績や成果をあらわしたもの。なお、成果目標(指標)は事後評価を行う時期(来年夏頃)までに把握できるものを記載している。